

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2022年7月22日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	旭川市	代表者名	今津 寛介
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0166-25-6205
担当者役職	一般職(主任)	担当者氏名	水沢 悠
住所	070-8525 北海道旭川市6条通9丁目46番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	東 富彦
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体の具体的な現状分析からDXの必要性について説得力のある説明があったほか、住民の生活がどう良くなるのか、現実的に可能な内容になっているかといった視点から具体的な中津市の成功例を紹介いただきました。その際の思考プロセスや具体的な成果も説明していただき、自治体DXとは「生活者の視点に立ち職員自らがデジタル技術を活用した高度な行政サービスを継続して効率的に提供できるようになること」との説明を実感を持って理解することができました。旭川市のDXチームのDX推進における考え方が確実にレベルアップしたものと考えます。
アドバイザーへの要望事項	事前に打合せした内容に沿って説明を展開していただき、不足箇所を補い、次への道筋を立てていただきました。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2022年7月8日	支援・助言(オンライン)	有	2022年7月7日	110
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和4年7月15日	支援・助言(オンライン)	10時00分	12時00分	
				活動時間(分)	120
3-2. 派遣場所	会場名	旭川市役所(オンライン)	最寄駅	旭川駅	
	所在地	旭川市6条通9丁目	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	旭川市DX推進担当職員(旭川市CDO含む)	11人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本事業では、職員が主体的に業務改善に取り組んでいます。4月にCDOを設置していますが、更に組織内の意識を高め、着実にDXを進めたいところです。第1の課題は、「なぜ自治体にDXや業務改善が必要なのか」組織で統一したマインドセットを持つことで、全職員の力を引き出し、結集できる組織にすることです。第2の課題は、行政サービスの高度化・効率化を目指すために有効な手段として初めてノーコードツールを活用する予定ですが、担当課のツール活用のノウハウが不足していることです。具体的な参考事例を参考に挑戦したいと考えています。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・幹部を含む職員が「なぜDXや業務改善が自治体に必要か」を認識すること ・幹部を含む職員がノーコードツールを活用する目的や成功イメージを認識すること ・DXチームが本市に最適なノーコードツールを選定し、具体的な戦略を持って導入すること	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	第1回はオンラインでDXチームに対し、次のとおり支援を受けました。 ・「なぜDXや業務改善が自治体に必要か」の説明 ・ノーコードツールを活用する目的や成功イメージの説明 ・中津市のノーコードツール選定の検討過程の説明 ・第2回の現地派遣で全庁職員向けの研修を開催するに当たり、研修目的や開催方法の協議	

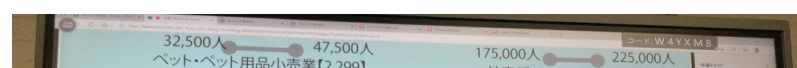
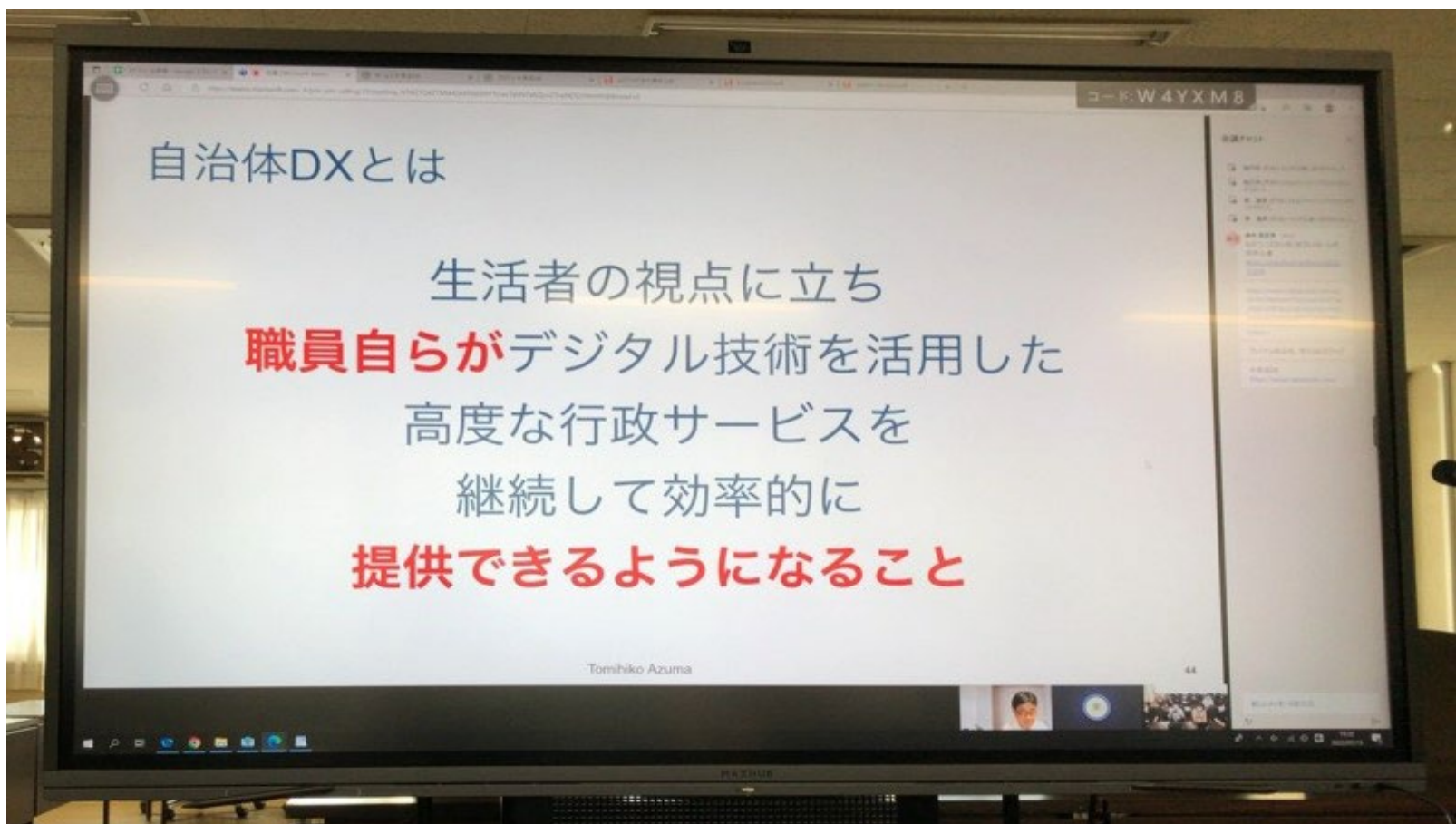
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	次のとおり改善又は解決しました。 <ul style="list-style-type: none"> DXチームが「なぜDXや業務改善が自治体に必要か」を理解したこと DXチームがノーコードツールを活用する目的や成功イメージを理解したこと DXチームが中津市のノーコードツール選定の検討過程を理解したこと 第2回の実地派遣の全庁職員向けの研修について、目的や開催手法を決定したこと 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	第1回はDXチームに対する支援でしたので、その他職員に対する支援は第2回となります。また、本市に最適なノーコードツールの選定については、キントーンの試行等の状況も踏まえて、第3回までの全ての支援を受けてからとなります。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 <ul style="list-style-type: none"> DXチームに対する支援であったため、アンケートは実施していません。 	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	組織内で自治体DXの必要性について統一したマインドセットを持ち、全職員が参加して行政サービスの高度化・効率化を目指す。その手段のひとつとしてノーコードツールが庁内で広く活用されている。	

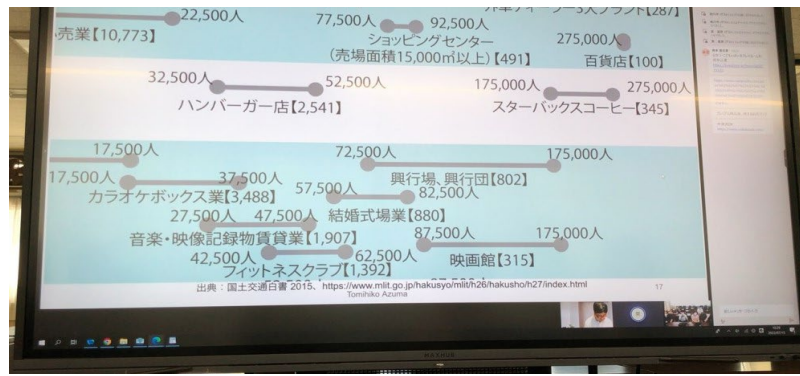
未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。





プログラム

回	日程	目的	内容
第1回	1/19(水) 13:00-15:00	研修の目的を理解し、デジタル化する具体的なテーマを設定する	講義、Nakatsu DX Award 2021 チャレンジ事例の紹介、デジタル化するテーマの検討
第2回	1/26(水) 13:00-15:00	手続きを電子申請として公開するスキルと、チャットを使用したコミュニケーションスキルを習得する	LoGoフォーム、LoGoチャット実務研修
第3回	2/2(水) 13:00-15:00	くらしに役立つ情報をカレンダー、マップとして公開するスキルを習得する	Googleスプレッドシート、カレンダー、マップ実務研修
第4回	2/9(水) 13:00-15:00	最新デジタル技術の知識習得、受講者が選択したテーマを研修で習得したスキルを活用してデジタル化する	AppSheetによるアプリ開発概要、PCと各種ツールを使ったサービス開発
第5回	2/16(水) 13:00-15:00	最新デジタル技術の知識習得、受講者が選択したテーマを研修で習得したスキルを活用してデジタル化する	AI・チャットボット概要、PCと各種ツールを使ったサービス開発、プレゼンテーション準備
第6回	3/2(水) 13:00-15:00	研修成果を庁内で共有する	受講者が開発したサービスのプレゼンテーション

参加者

No.	部署名	課・室名	係名	役職
1	福祉部	子育て支援課	子育て支援係	主任
2	生活保健部	地域医療対策課	市民健康推進係	主査
3	生活保健部	保険年金課	国民年金係	主事
4	生活保健部	市民課	市民係	主任
5	生活保健部	環境政策課	環境政策係	主任
6	生活保健部	人権・同和対策課	人権・同和対策係	主査
7	商工農林水産部	企業誘致・港湾課	企業誘致・港湾係	主任
8	建設部	施設整備課	建築保全係	主任
9	建設部	建築指導課	建築指導係	主任
10	建設部	建設政策課	建設政策係	主任
11	上下水道部	総務経営課	総務係	主事
12	上下水道部	総務経営課	経営企画係	主事
13	本郷集会所	総務・住民課	庶務係	主任
14	山国支所	農林建設課	管理係	主事
15	教育委員会	教育総務課	教育総務係	主事
16	教育委員会	学校教育課	学校教育係	主任
17	教育委員会	社会教育課生涯学習推進室	生涯学習推進係	主事
18	教育委員会	体育・給食課	スポーツ推進係	主任

17件が Nakatsu DX Award 2021 にエントリー